

2014年3月期 決算説明会 主要Q&A

Q：2014年3月期の受注が2013年3月期の1,816億円から1,867億円に51億円増えているが、その明細を教えてください。

A：+51億円の主な明細は

業務ソリューションで+119億円

(産業・流通・サービス約+50億円、金融約+90億円、社会公共他約-20億円)

ビジネスサービスで-60億円

(テレコム向け約-40億円、鉄鋼向け約-10億円、ITサービス他約-10億円)

となっております。

Q：2015年3月期の新日鉄住金株式会社向けの売上高の見通しは？

A：継続的に推進している統合関連プロジェクトに加え、2014年4月よりアイエス情報システム株式会社から当社に業務移管されたAP業務移行(その1)分20億円もあり、350億円程度を見通しております。

(2014年3月期の新日鉄住金株式会社向けの売上高実績は296億円)

Q：2015年3月期上期の売上増+45億円の見通しは？

A：2014年3月末時点の受注残は対前年度で+68億円の増加となっております。この+68億円のうち約半額を2015年3月期上期の売上増として見込んでおります。加えてアイエス情報システム株式会社から当社に業務移管された20億円の半額程度が2015年3月期上期の売上増になります。

以上